

## 国内最大級、グローバル教育スペース！

～新キャンパス設置、再編で次のステージへ～

2017年4月、名古屋学院大学は名古屋市熱田区にキャンパスを開設して10年という節目の年を迎えました。学部学科においては、2013年に法学部法学科、2015年には現代社会学部、国際文化学部、スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科を新設するなど、時代や社会のニーズに合わせ絶えず変革を行ってきました。設備面に関しても「名古屋学院大学キャンパス整備計画」に基づき2018年4月以降、新キャンパス(GLOBAL LINKS)の設置と再編(リハビリテーション学部名古屋キャンパス移転、大学院サテライトキャンパス移転)を行います。2019年度に55周年を迎える名古屋学院大学は、次の新たなステージに向け前進し続けます。

### 【今後のスケジュール】

- 2018年4月 大学院サテライトキャンパスをキリックス丸の内ビルに移転
- 9月 新キャンパス(GLOBAL LINKS)竣工(国内最大級のグローバル教育スペース)
- 2019年4月 リハビリテーション学部名古屋キャンパス移転(名古屋市内の私立大学では初)

### 【新キャンパス(GLOBAL LINKS)新設】

国内最大級の面積を誇る国際教育の場として、2018年9月に竣工を迎える「大宝学舎(GLOBAL LINKS)」。実践的な語学運用能力と国際感覚を有し、グローバル社会で幅広く活躍する人材育成を目的としています。常駐するネイティブ教員や外国人スタッフを中心に、全学生を対象とした国際教育支援を行うほか、地域の中に学びの場を創出することで、名古屋市における国際化拠点を目指します。

#### ■ 大宝学舎(GLOBAL LINKS)の3つのコンセプト

- ①全ての学生がいつでもグローバル教育を受けられる
- ②学生と留学生、卒業生、地域市民が共に学ぶ場を創出する
- ③地域全体の国際化を牽引する



延べ面積 約 6,000 m<sup>2</sup>  
(施設概要 別紙参照)

### 【リハビリテーション学部名古屋キャンパス移転】

リハビリテーション学部は、瀬戸キャンパスに2010年開設以降、毎年、理学療法士国家試験合格率が全国平均を上回っており、独自の就職支援で高い就職率を誇っています。2019年4月には、名古屋キャンパス移転(名古屋市内の私立大学では初のリハビリテーション学部)により、新たなスタートを切ります。

#### ■ 施設情報

- ・2018年8月より日比野学舎を全面改修工事予定。リハビリテーション学部研究室、図書スペース、自習室、一般教室などを整備する予定。

### 【大学院サテライトキャンパス移転】

1997年、中部日本ビルディングに「さかえサテライト」を開設。2019年3月の中部日本ビルディングの閉館に合わせ、2018年4月より大学院サテライトキャンパスをキリックス丸の内ビルに移転します。

#### ■ 施設情報

- ・キリックス丸の内ビル(名古屋市中区丸の内1-17-19) / 貸面積 271.3坪
- ・地下鉄桜通線・鶴舞線「丸の内駅」徒歩1分、東山線「伏見駅」徒歩5分